



# Creator

Make your documents alive

## Quick Start Guide

For version 4

**wizExpert Inc.**

## 目 次

1. DocZoom Creator について.....	3
2. 基本機能.....	4
3. DocZoom 生成.....	6
4. DocZoom 編集.....	10
5. DocZoom Viewer 使い方 .....	16
5.1. 基本操作 .....	16
5.2. 黒板機能 .....	20
5.3. リモコンで DocZoom Viewer 操作.....	29
6. DocZoom 配布.....	31
7. 問題解決.....	32
8. ソフトウェアエンドユーザーライセンス契約.....	35

## 1. DocZoom Creator について

DocZoom Creator は誰もが簡単に専門家レベルの高級コンテンツを製作できる個人用コンテンツ制作ソフトウェアです。

DocZoom Creator を利用すれば次のようなことができます。

- 教師、教授、講師が自分だけのマルチメディア講義資料を作成できます。
- 他人とは違う新しいプレゼンテーションができます。
- かわいいポートフォリオを作成し、他の人に簡単に公開できます。
- マルチメディアマニュアルを製作できます。
- マルチタブレットPCを活用できます。
- スタイラスペンを利用して手書きの感覚で板書ができます。

### ✓ DocZoomとは…?



## 2. 基本機能

デスクトップまたはスタートメニューから DocZoom Creator アイコンをダブルクリックすると次のような画面が表示されます。この画面でのマウスまたはタッチ操作だけで DocZoom Creator のほとんどの機能を簡単に使うことができ、全ての機能を統合管理しているため、**DocZoom ダッシュボード** といいます。



DocZoom ダッシュボードでは次のような操作ができます。

- 生成された DocZoom のリストをプレビューと同時に閲覧でき、ソート順序とタグを使用して見たい DocZoom を素早く表示する事ができます。
- 新しい DocZoom を生成できます。
- 生成された DocZoom を実行/管理/編集/削除できます。

**各ボタンおよびアイコンの上にマウスを移動すると該当機能の説明がツールチップで表示されます。**

左上の **My DocZooms** および **Customs** タブを選択するとリストに表示する DocZoom 保存場所の種類を変更できます。

- **My DocZooms** を選択すると [マイドキュメント\My DocZooms] フォルダーの全ての DocZoom がリストに表示されます。このフォルダーは DocZoom の基本生成フォルダーなので削除しないでください。
- DocZoom生成時、**My DocZooms** の代わりに任意の場所を指定して生成することができますが、**Customs** を選択すると任意の場所に生成された DocZoom のリストが表示されます。この時、該当フォルダーが存在しない場合は自動的にリストから削除されます。

各 DocZoom アイテムにマウスオーバー、またはタップすると次のようなメニューが表示され、MORE ボタンを押すとサブメニューが表示されます。



メインメニュー



サブメニュー

メインメニューには主に使われる機能のボタンが表示されます。

- **実行** - 該当 DocZoom が実行されます。
- **削除** - 該当 DocZoom が削除されます。削除された DocZoom はごみ箱に移動します。
- **情報** - 該当 DocZoom の詳細情報が表示され、タグなどのメタデータを編集することができます。
- **編集** - DeepClick Editor が実行され、現在 DocZoom にリンク、イメージ、動画、ユーザーインタラクション情報を挿入/編集することができます。

サブメニューには追加機能のボタンが表示されます。

- **パッケージ作成** - 該当 DocZoom から自動インストールファイルが作成され、他人に簡単に配布することができます。
- **DocZoom Viewer 設定編集** - ビューアのスタイルや初期ページレイアウトなど、該当 DocZoom ビューアの設定を変更することができます。

### 3. DocZoom 生成

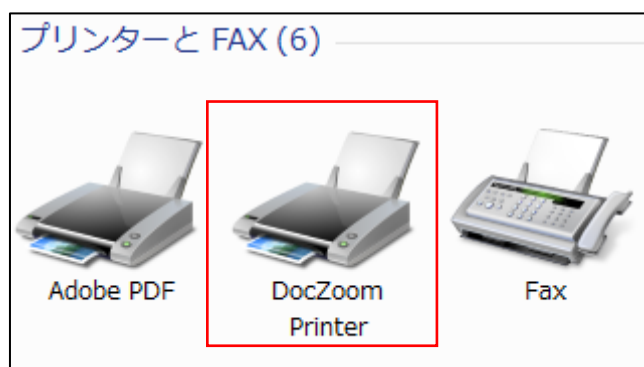
DocZoom Creator では3つの方法で DocZoom を生成できます。

- 1) DocZoom ダッシュボードから DocZoom 生成ボタンをクリックし DocZoom に変換するファイルを選択すると自動的に DocZoom が生成されます。

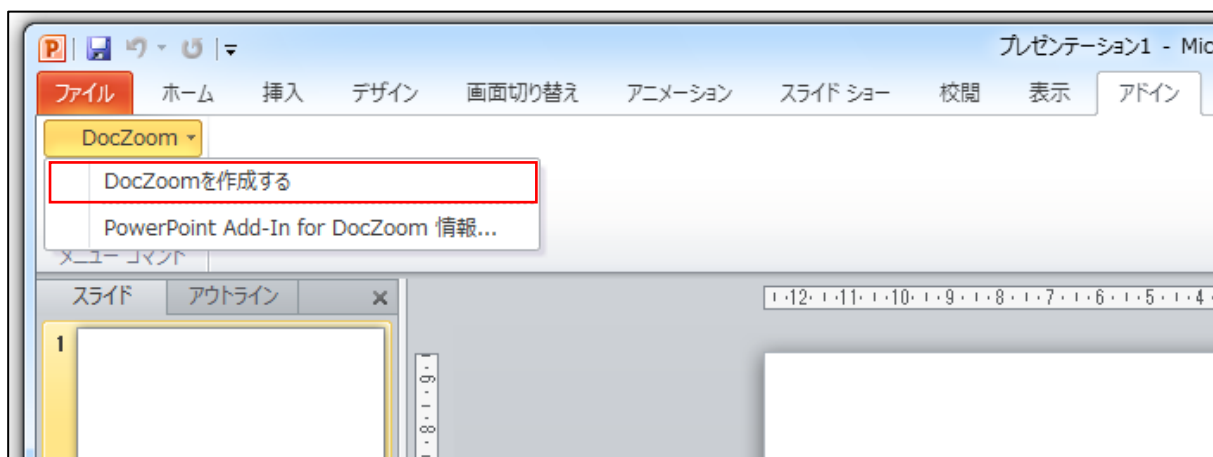
✚ 印刷可能なファイルだけが DocZoom に生成でき、エクスプローラーに該当ファイルフォーマットの印刷プログラムが設定されている必要があります。

✚ PPT, PPTX, PPTS ファイルを選択すると DocZoom がすぐ作成される代わりに Microsoft PowerPoint が表示され、3) の方法で DocZoom を生成できます。

- 2) ウィンドウから DocZoom に変換するファイルを開き、DocZoom Printer で印刷します。

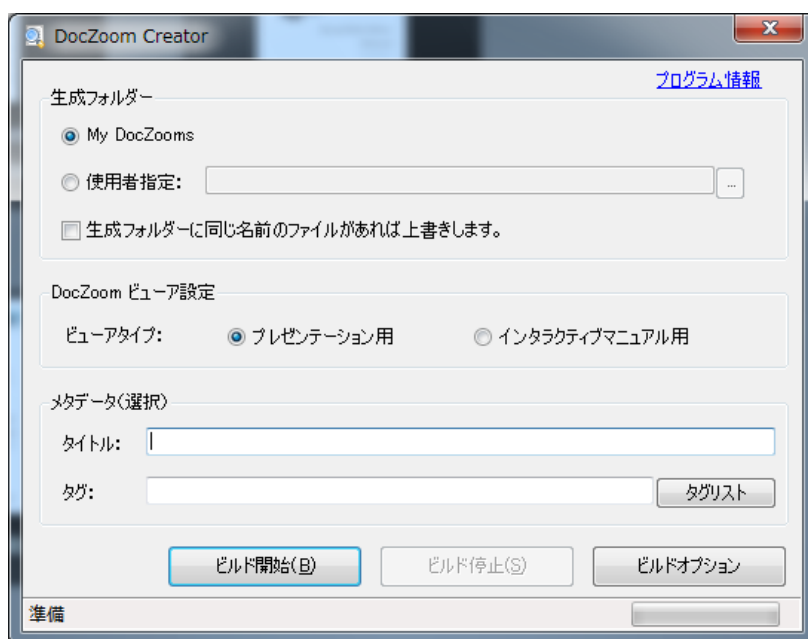


- 3) Microsoft PowerPoint の場合は【アドイン】タブから DocZoom -> DocZoom 生成 メニューをクリックします。



✚ PowerPoint 2007 で DocZoom の追加機能を使うためには Microsoft Office 2007 サービスパック 2 以上がインストールされている必要があります。(PowerPoint 2010 は基本サポート)

上の3つからいずれの方法を選択すると、次のような画面が表示されます。



保存場所を **My DocZooms** に選択すると **[マイドキュメント/My DocZooms]** フォルダーに生成されます **(推奨)**。他のフォルダーに生成したい場合は使用者指定を選択後、生成するフォルダーを指定します。

ビルド開始ボタンをクリックすると指定した場所に DocZoom が生成されます。 **[ビルドオプション]** ボタンをクリックするとビルドオプションウィンドウが表示されます。ここで DocZoom の品質、サイズ、生成方法などを変更できます。



一般的な PCやノートパソコンではほとんどの場合デフォルトの設定で良いですが、低スペックのネットブックなどの場合は品質を少し低く設定してください。

## ■ 品質

生成される DocZoom データの Jpeg 品質を指定します。高い値を設定すると文書の品質は高くなりますがファイルサイズが大きくなり、低い値を設定すると品質は低くなりますがファイルサイズが小さくなります。一般的には 95 程度が充分で、文書品質が求められる場合は 100 で、ファイルサイズを小さくする場合は 90 程度に設定してください。

## ■ 解像度

生成される DocZoom ページの DPI を設定します。DPI を高く設定すると高倍率に拡大しても鮮明度を維持できますが、生成される DocZoom のサイズが大きくなり速度が遅くなる可能性がありますので、適切な値に設定する必要があります。一般的に画面 DPI である 96 の 2 倍以下に設定するのが良いです。

## ■ タイルサイズ


生成される DocZoom のタイルサイズを指定します。一般的にタイルのサイズが小さいと低スペック PC でも素早く拡大/縮小ができますが、ファイルの数が多くなりローディング速度が低下します。一般的の場合 256 またはそれ以上の値を指定してください。

## ■ PDF レンダリングエンジン

PDF ファイルを DocZoom に変換する際のレンダリング方式を指定します。一般的にはデフォルトの値を使用します。**もし、生成された DocZoom が元の文書と異なる場合はレンダリング方式を変更して再度お試しください。**

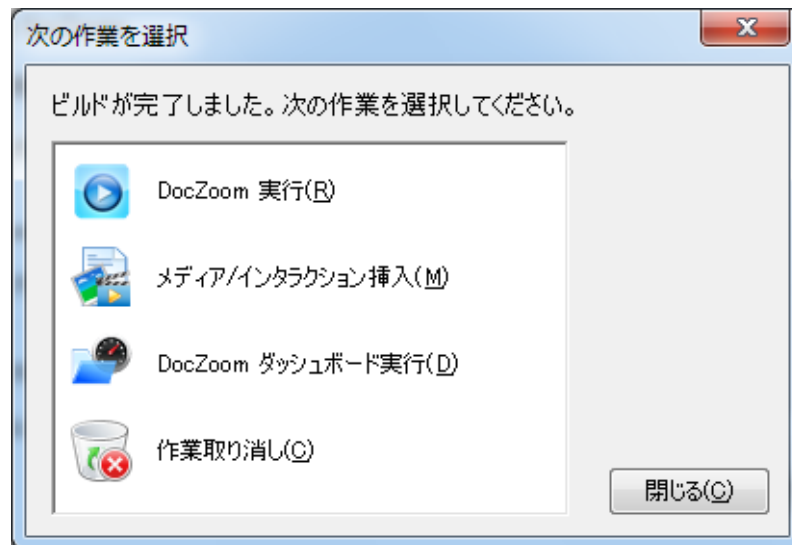
メタデータはオプションで、もしタイトルを指定しなかった場合は自動的に原本のファイル名が使われます。

タグは **“タグ1、タグ2”のようにコンマ区切で入力可能で**、リスト表示ボタンをクリックすると前に入力したタグリストが表示されます。

 **タグを入力しておくと DocZoom ダッシュボードから目的の DocZoom を素早く探すことができ、カテゴリ化ができます。**



DocZoom 生成が完了すると、次のように次の作業選択ウィンドウが表示されます。



- **DocZoom 実行** - 生成された DocZoom を開きます。デフォルトで選択されているので、ウィンドウが表示されてからエンターキーを押下するとこの作業が動作します。
- **メディア/インタラクション挿入** - DeepClick Editor が実行され、DocZoom にリンク、写真、ビデオ、インタラクション情報を挿入します。
- **DocZoom ダッシュボード実行** - DocZoom ダッシュボードを実行します。DocZoom ダッシュボードが既に実行されている場合はこのボタンは表示されません。
- **作業取り消し** - 生成された DocZoom を削除しウィンドウを閉じます。

[閉じる] ボタンをクリックするとウィンドウが閉じます。生成された DocZoom はそのまま維持されます。

## 4. DocZoom 編集



DocZoom ダッシュボードから各 DocZoom アイテムのメニューの[編集]ボタンをクリックすると、DocZoom にリンク、写真、ビデオおよびユーザーインタラクション情報を挿入できる DeepClick Editor が実行されます。



DeepClick Editor より次のような機能を簡単に実現できます。

- 特定領域をクリックして指定されたページに移動したり、URL、ファイルなどを開くことができます。
- 特定領域をクリックすると画面中央に拡大することができます。
- DocZoom 上にイメージや動画を配置できます。
- DocZoom 内部に動画が埋め込まれているように再生することができます。
- 特定領域をクリックすると動画や音声ファイルがポップアップで再生させることができます。
- DocZoom 内部にフォトアルバムを挿入したり、ポップアップで表示することができます。
- 多様なアニメーション効果が提供されており、その中から1つ選択するだけで簡単にアニメーション効果を挿入することができます。
- 複数のコントロールが相互動作することにより、DocZoom の閲覧方法を制御できます。

DeepClick Editor を実行した後 F1を押下すると各機能の詳細なヘルプが表示されます。

 **DocZoom Dashboard から  アイコンをクリックすると DeepClick Editor の使い方を動画で見ることができます。**

次は DeepClick Editor で DocZoom に動画を追加する例です。

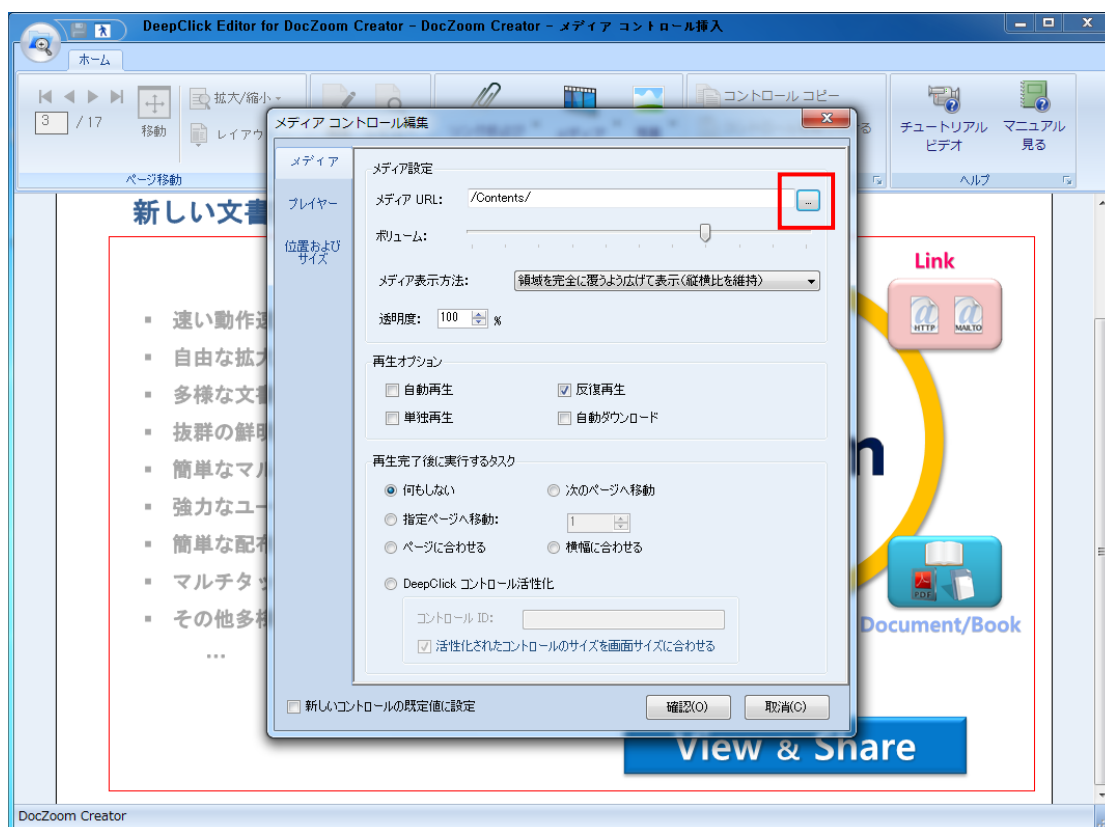
- 1) リボンメニューのコントロールグループの[メディア → メディアコントロール]をクリックします。



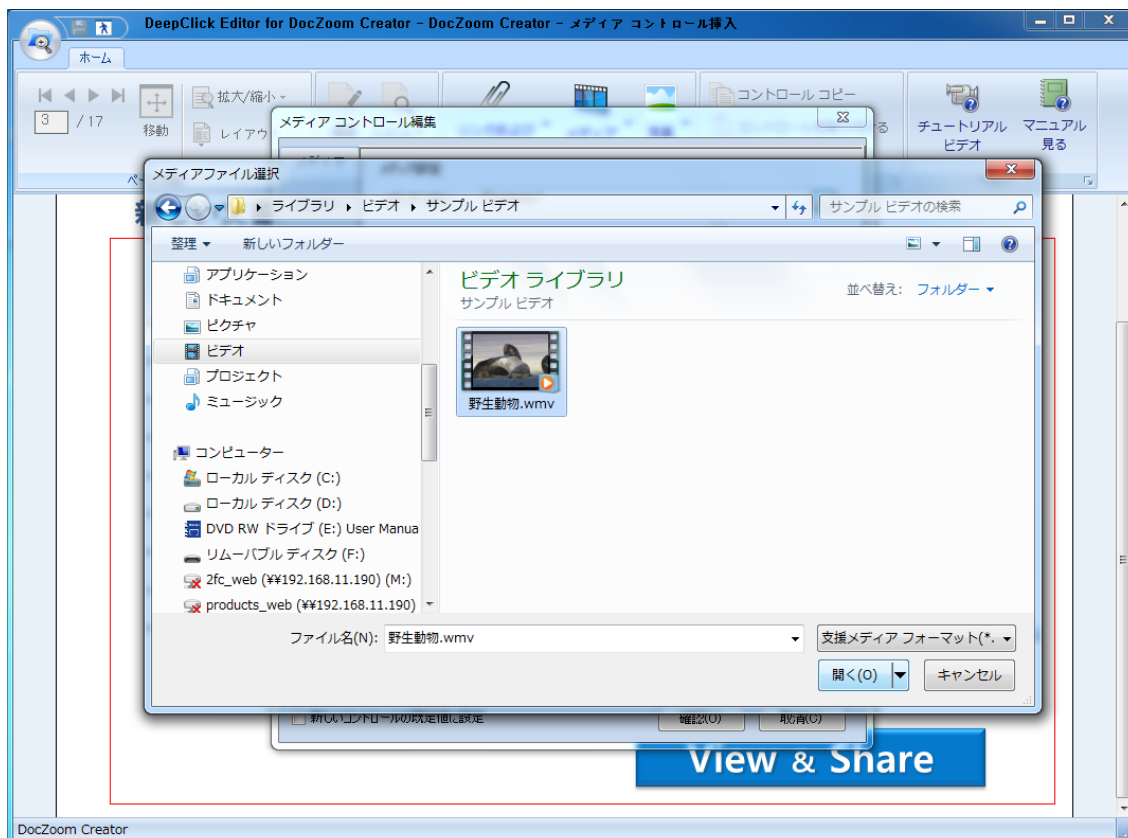
- 2) ドラッグしてコントロールを配置する領域を指定します。



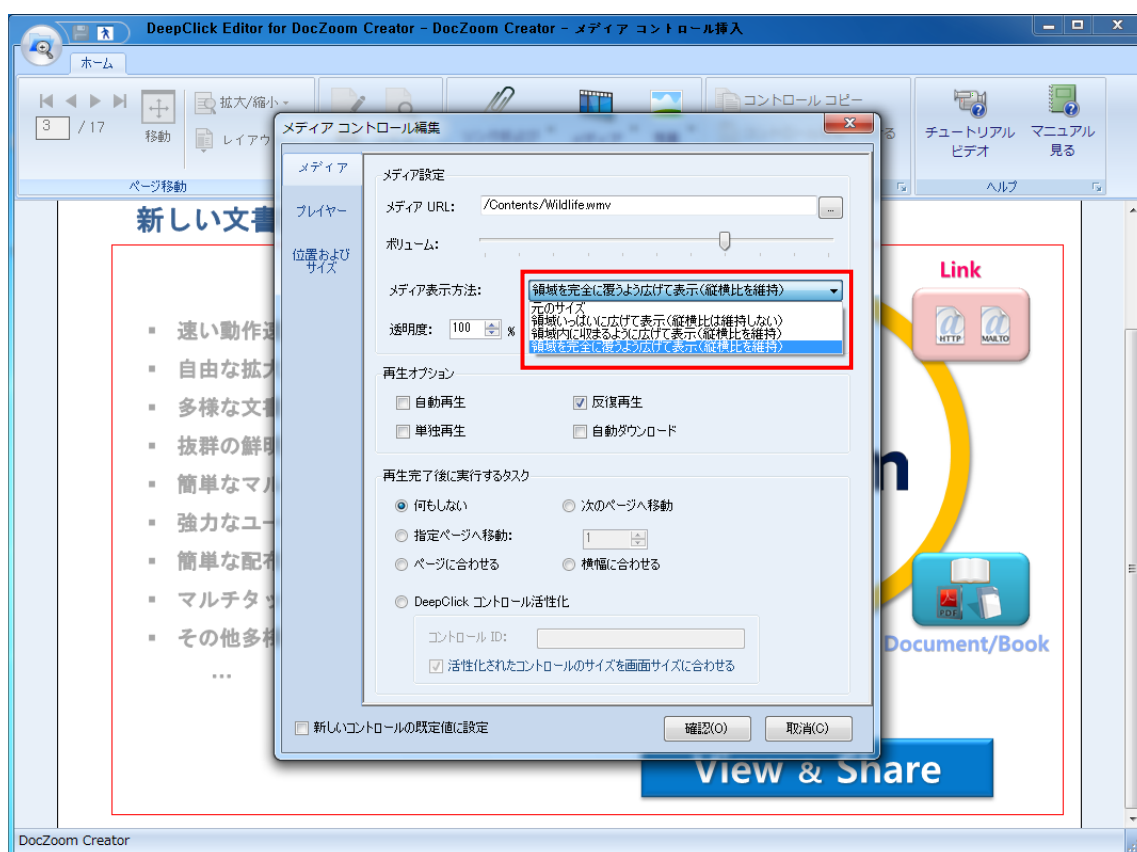
3) [メディア URL]の右側のボタンをクリックします。



4) 挿入する WMV ファイルを選択します。



5) 動画がコントロール全体に表示されるようにメディアの表示方法を変更します。



6) 設定を完了した後[確認]をクリックします。

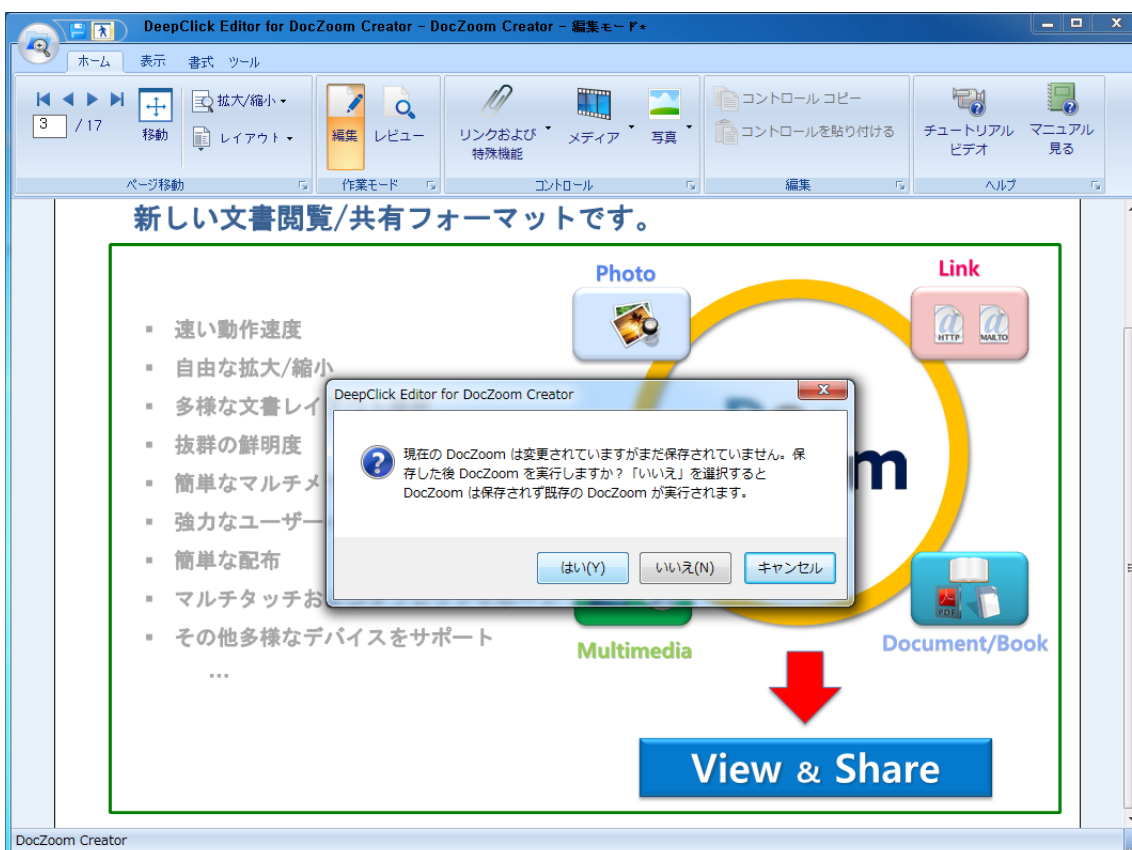




7) 左側上端にある [DocZoom 実行] アイコンをクリックします。



8) 保存確認メッセージが表示されるので[はい]をクリックします。



9) 編集中の DocZoom が開きます。動画を挿入したページに移動すると、次のように動画プレイヤーが表示されるのを確認できます。



## 5. DocZoom Viewer 使い方

### 5.1. 基本操作

DocZoom Viewer のスキン設定を[プレゼンテーション用]に設定するとツールバーが通常は非表示になり、右下の半透明ボタンをクリックするとツールバーが表示されます。スキンを[一般]に設定すると常にツールバーが表示されます。両方とも良く使われないボタンは下端の>>>をクリックすると表示されます。



プレゼンテーション用スキンで全てのボタンを表示した場合



一般用スキンで全てのボタンを表示した場合



✚ 各ボタンの上にマウスを移動すると機能の説明がツールチップ表示されます。

次のようにキーボードを使うこともできます。

- 矢印キーでドキュメントを移動できます。
- Home、Endキーまたは +、- キーで拡大/縮小ができます。
- PageDown、PageUpキーでページ移動ができます。

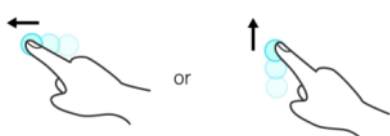
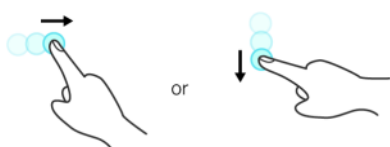
マウスを使うと次のように動作します。

- ドキュメント領域をダブルクリックすると拡大されます。
- Shift + ダブルクリックで縮小されます。
- マウスホイールモードが拡大/縮小モードの場合はホイールを回すことで拡大/縮小されます。マウスホイールモードが縦方向スクロールモードの場合は上下にスクロールします。マウスホイールのモードはツールバーにあるボタンか、マウスを画面右下の移動すると表示されるコントロールボックスで変更できます。

OS が Windows 7 でマルチタッチがサポートされるデバイスの場合、次のようなジェスチャーが可能になります。

- ✚ デバイスによってはサポートされるタッチポイントの数が異なる場合があります、Windows 7 のシステム登録情報から確認できます。
- ✚ 各マルチタッチデバイスのマルチタッチ性能や品質によってはジェスチャーの認識率が異なる場合があります。
- ✚ Windows 7 ホームプレミアムからマルチタッチがサポートされ、その下位バージョンではシングルタッチのみがサポートされます。


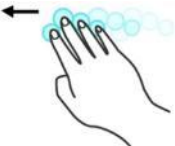

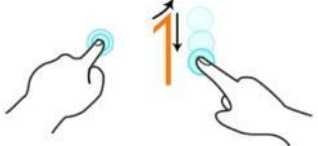
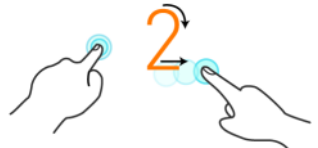


シングルタッチジェスチャーは次のようになります。

ジェスチャー種類	説明
	1 ページ表示または2 ページ表示モードで、左または上にフリックすると前のページに移動します。このジェスチャーは指で文書をドラッグしても動かない状態(画面フィット状態)でフリックすると動作します。
	1 ページ表示または2 ページ表示モードで、右または下にフリックすると次のページに移動します。このジェスチャーは指で文書をドラッグしても動かない状態(画面フィット状態)でフリックすると動作します。

	<p>左または上に素早くフリックすると前のページに移動します。拡大表示状態で前のページに移動したい時に便利です。</p>
	<p>右または下に素早くフリックすると次のページに移動します。拡大表示状態で次のページに移動したい時に便利です。</p>
	<p>1本の指を2秒以上押してから離すと画面フィットになります。</p>

マルチタッチジェスチャーは次のようになります。

ジェスチャー種類	説明
	<p>2本の指でピンチすると拡大/縮小できます。</p>
	<p>2本の指で左または上にフリックすると前のページに移動します。</p>
	<p>2本の指で右または下にフリックすると次のページに移動します。</p>
	<p>2本の指で左または上に素早くフリックすると最初のページに移動します。</p>
	<p>2本の指で右または下に素早くフリックすると最後のページに移動します。</p>

	4本の指を右にフリックすると最後のページに移動します。
	4本の指を左にフリックすると最初のページに移動します。
	2本の指を2秒以上押してから離すと板書モードに切り替わります。
	指1本を押したまま(Holding)もう1本の指で <b>数字1</b> を描くと1ページ表示に切り替わります。
	指1本を押したまま(Holding)もう1本の指で <b>数字2</b> を描くと2ページ表示に切り替わります。
	指1本を押したまま(Holding)もう1本の指で <b>数字3</b> を描くと横方向の連続表示に切り替わります。
	指1本を押したまま(Holding)もう1本の指で <b>数字4</b> を描くと全体表示に切り替わります。

## 5.2. 黒板機能

DocZoom Viewer は強力な黒板機能を提供しタブレットPCおよび電子黒板の効用性を高めることができます。DocZoom Viewer の黒板機能を使うためには、次のようにツールバーから[ペン]アイコンをクリックします。

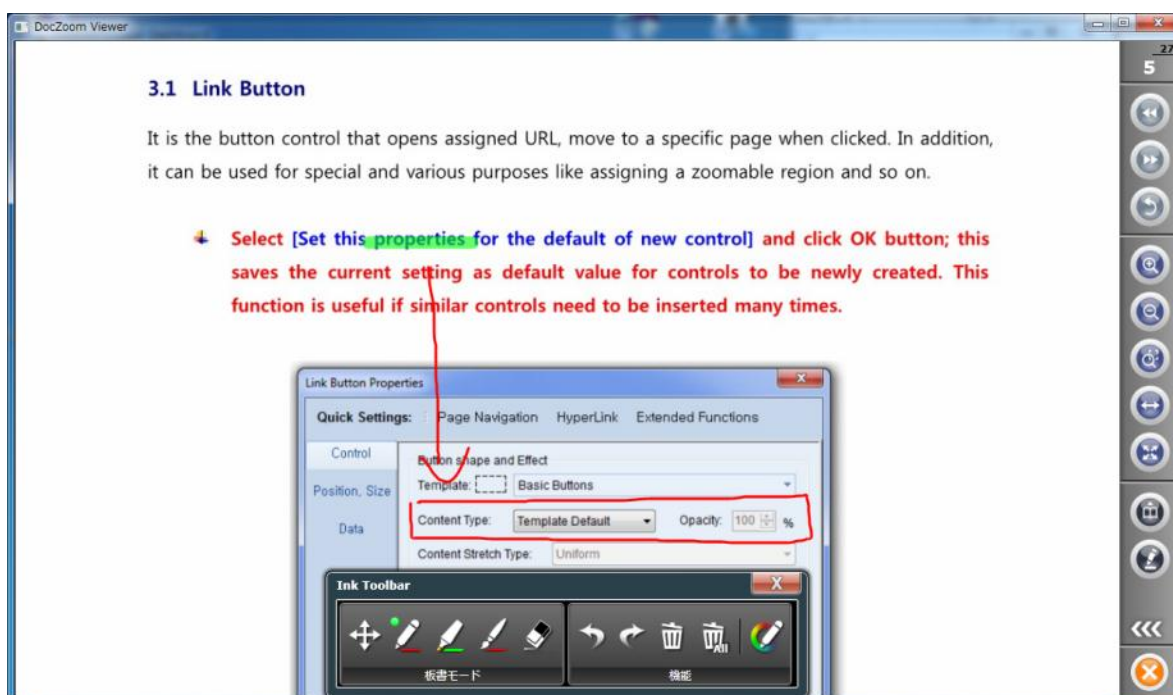


DocZoom Viewerでは4つの黒板モードを提供します。

### 1) DocZoom 上に板書



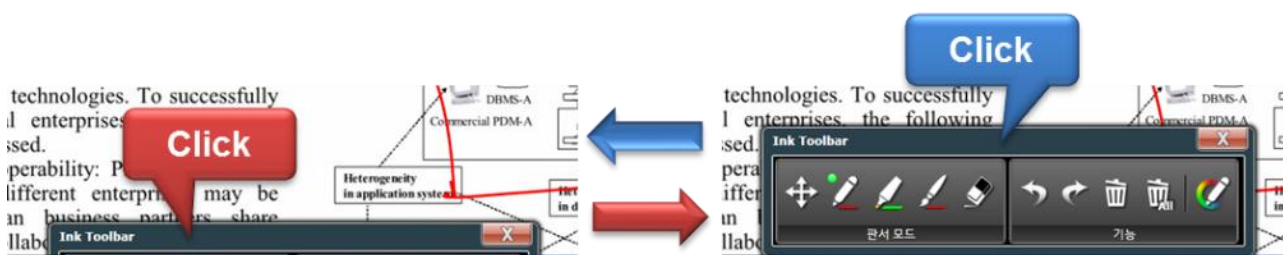
アイコンをクリックすると DocZoom 上に板書することができます。



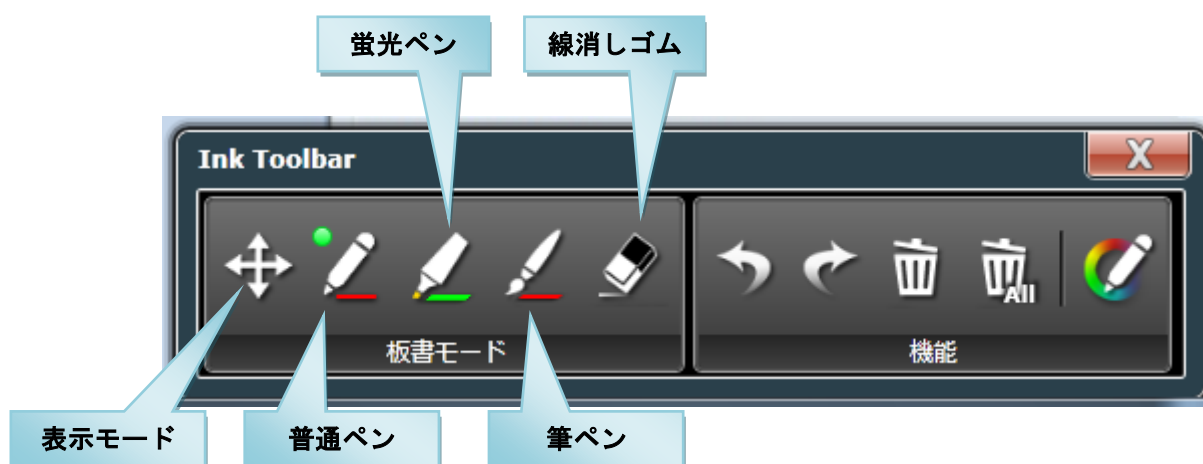
黒板ツールバーは通常は画面の下端に隠れた状態になっており、次のように簡単に表示/非表示することができます。

- ツールバーのタイトル領域をクリックするとツールバーが上にスライドして表示されます。
- ツールバーが画面下端の付近にある時ツールバーのタイトル領域をクリックするとツールバーが下にスライドして隠れます。
- ツールバーが画面下端を突き出るまでツールバーをドラッグすると自動的に隠れる位置にくつきます。

- ツールバーのタイトル領域をドラッグするとツールバーを動かすことができます。



次のように5つの板書モードをサポートします。



表示モード	マウスやタッチのドラッグで線は描かれず、描画モードオフのように動作します。 DocZoom をドラッグしたり、DeepClick コントロールを選択することができます。
普通ペン	太さが一定の不透明の線を描きます。
蛍光ペン	太さが一定の半透明の線を描きます。
筆ペン	筆文字のような線を描きます。 入力装置がペン圧をサポートする場合のみ利用できます。
線消しゴム	描かれた線を消します。

- ✚ 板書モードで 2本の指で DocZoom をドラッグすると移動モードに切り替えなくても DocZoom を動かすことができます。（マルチタッチデバイスのみ）

- ✚ タブレットPCからスタイラスペンをひっくり返すと自動的に消しゴムモードに切り替わります。

[ペン属性]アイコンをクリックすると次のようにペンの太さや色の選択画面に遷移します。ペンごとに太さや色が記憶され、ペンの種類を変更すると該当ペンの設定値が表示されます。



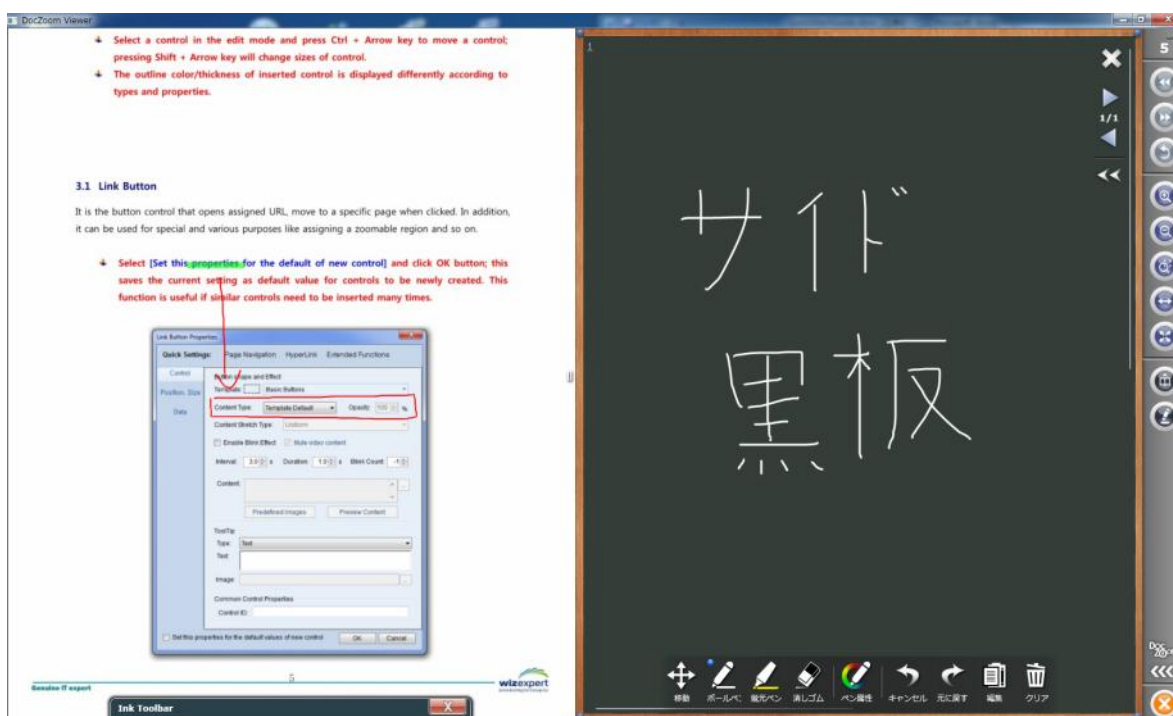
- ✦ [選択中のペン種類]アイコンをクリックすると前の画面に戻らなくてもペンの種類を切り替えることができます。

## 2) DocZoom とサイド黒板の整列表示



アイコンをクリックすると DocZoom とサイド黒板を整列して表示します。

このモードではドキュメントを見ながら別当の領域に板書できるのが特徴です。



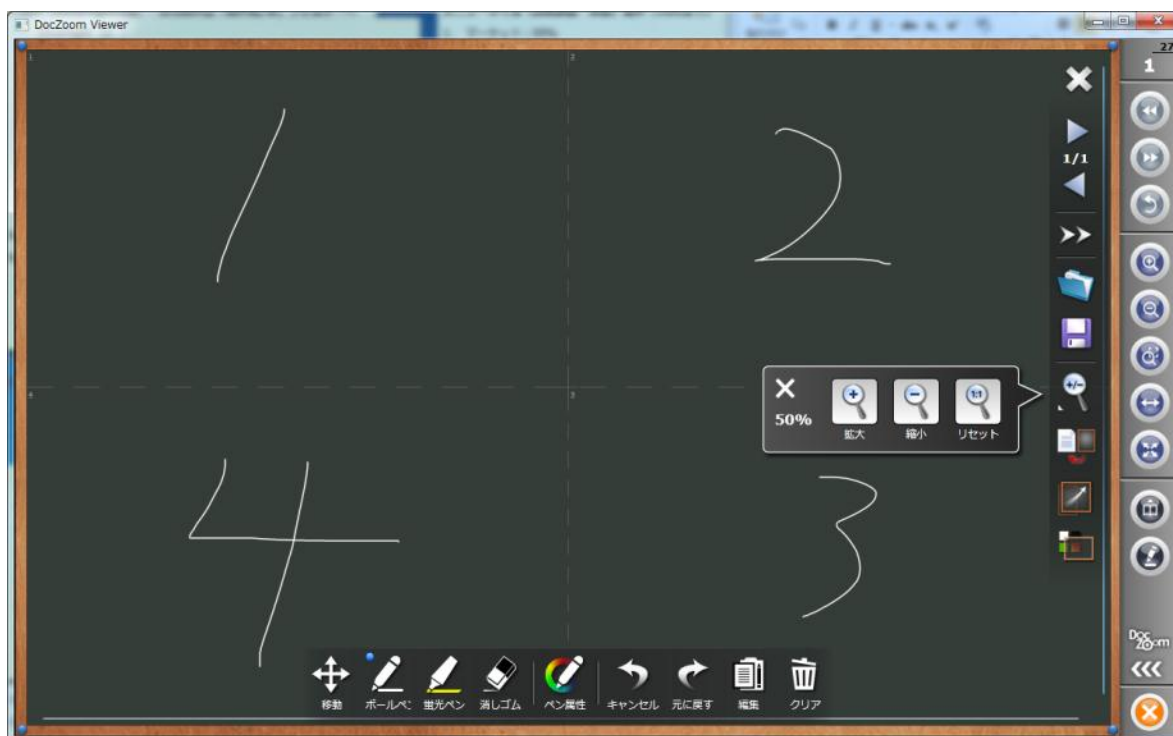
サイド黒板は専門の電子黒板ソフト並びの強力な黒板機能を提供します。特に4分面システム、マルチページ、拡大/縮小機能、ストローク単位のコピー/切り取り/貼り付け、動画およびイメージ挿入、板書の保存および表示など、デジタル黒板の長所を揃えています。

- ✦ DocZoom とサイド黒板の位置を切り替えたり、黒板のみ表示することもできます。

DocZoom 上にも板書をする場合は  アイコンをクリックします。

サイド黒板の 1 ページは 100%拡大比率で実際の描画領域の 1/4 のみ表示します。モードを【移動】に変更してドラッグすると他の領域に移動できます。

50%に縮小すると次のように 4 つの領域が全て表示されます。



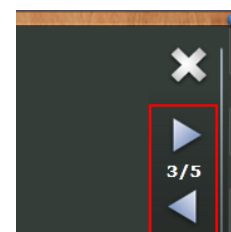
このように 4 分面を活用できます。例えば、1 分面には問題を、2 分面には回答を書いておき、問題と回答の表示を簡単に転換できます。内容が長くなる場合は黒板を上をスライドさせながらスムーズに板書することができます。

【移動】モードはキネティックスクロールをサポートするため、素早くドラッグすると一気に次の分面に移動できます。

サイド黒板の右上にある青色のアイコンをクリックすると該当の分面に移動します。

サイド黒板はマルチタッチをサポートします。右側ツールバーの左矢印ボタンをクリックする度に新しいページが生成され、ページ間を自由に移動できます。

サイド黒板領域に動画、音声、イメージを挿入し、その上に描画ができます。

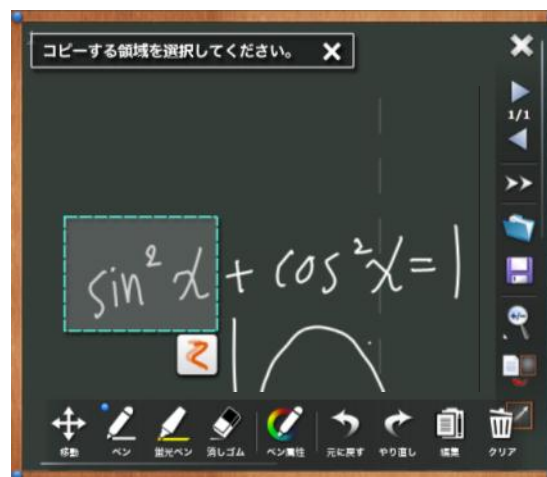





選択した動画とイメージは現在画面に見える分面に挿入され、各分面ごとに異なるアイテムを挿入できます。動画を挿入した場合、別当のモード変換なしで黒板と動画の再生制御を並行することができます。

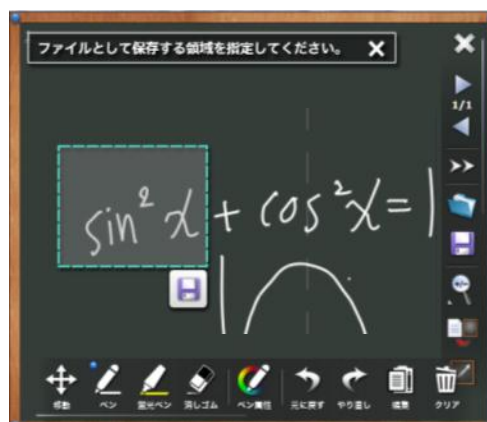
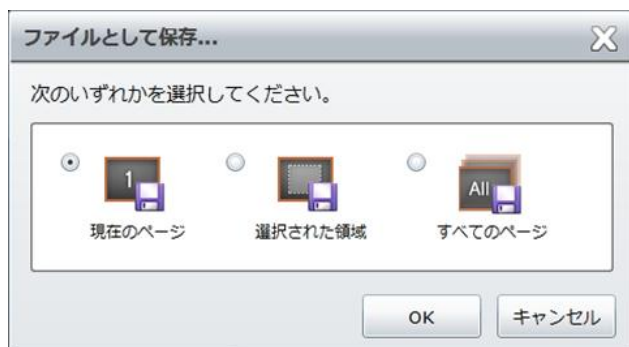



サイド黒板領域の全ての線は[コピー/切り取り/貼り付け]がサポートされます。ストロークレベルで作業が行われるため[取消/元に戻す/削除]が自由です。

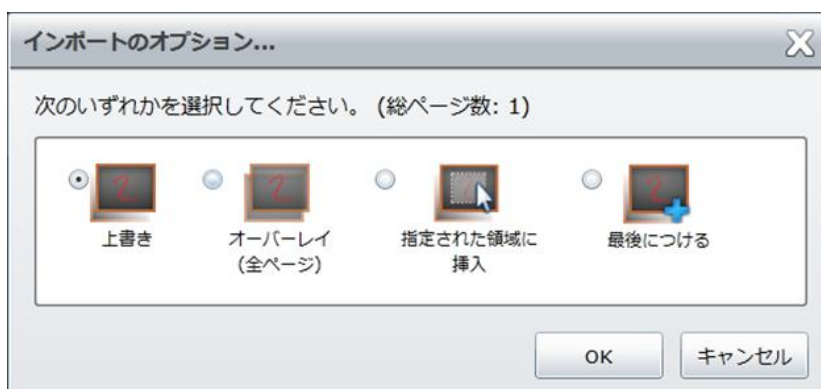




 アイコンをクリックするとサイド黒板の内容をファイルに保存できます。現在のページ、全てのページだけでなく、描画の一部の内容だけの保存もできるので、板書した内容の再利用ができます。



右側ツールバーの  ボタンをクリックすると保存されている描画内容を読み出すことができます。保存された描画ファイルを選択すると次のようなオプションウィンドウが表示されます。




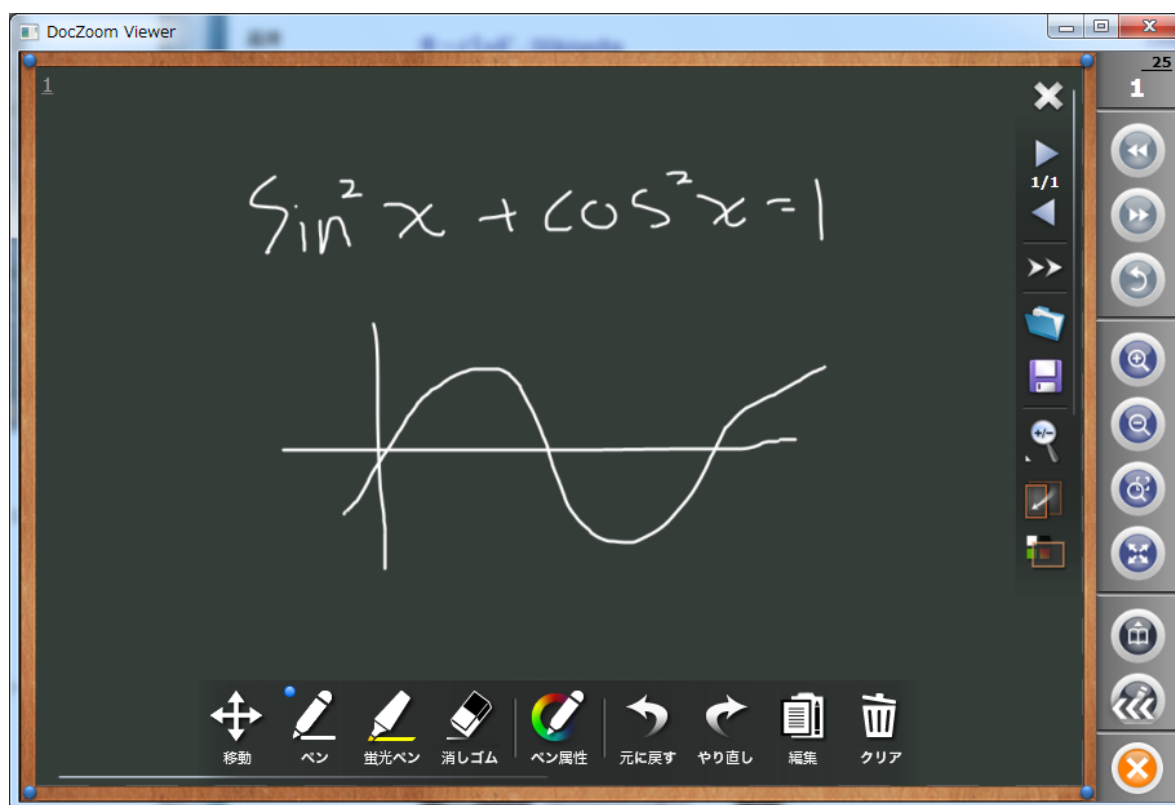
上書き	現在の板書を全て上書きします。
オーバーレイ (全ページ)	現在の板書を残して、その上に追加します。 板書ファイルにページが1つだけ保存されている場合のみ使用できます。
指定した領域に 挿入	呼び出した板書を指定した位置に挿入します。 板書ファイルにページが1つだけ保存されている場合のみ使用できます。
最後につける	現在表示されているページの最後に呼び出した板書ページを追加します。


### 3) サイド黒板のみ表示




アイコンをクリックするとサイド黒板を全体画面で表示します。

サイド黒板と DocZoom が一緒に表示されている場合サイド黒板の  アイコンをクリックするとサイド黒板が全体画面に切り替わります。



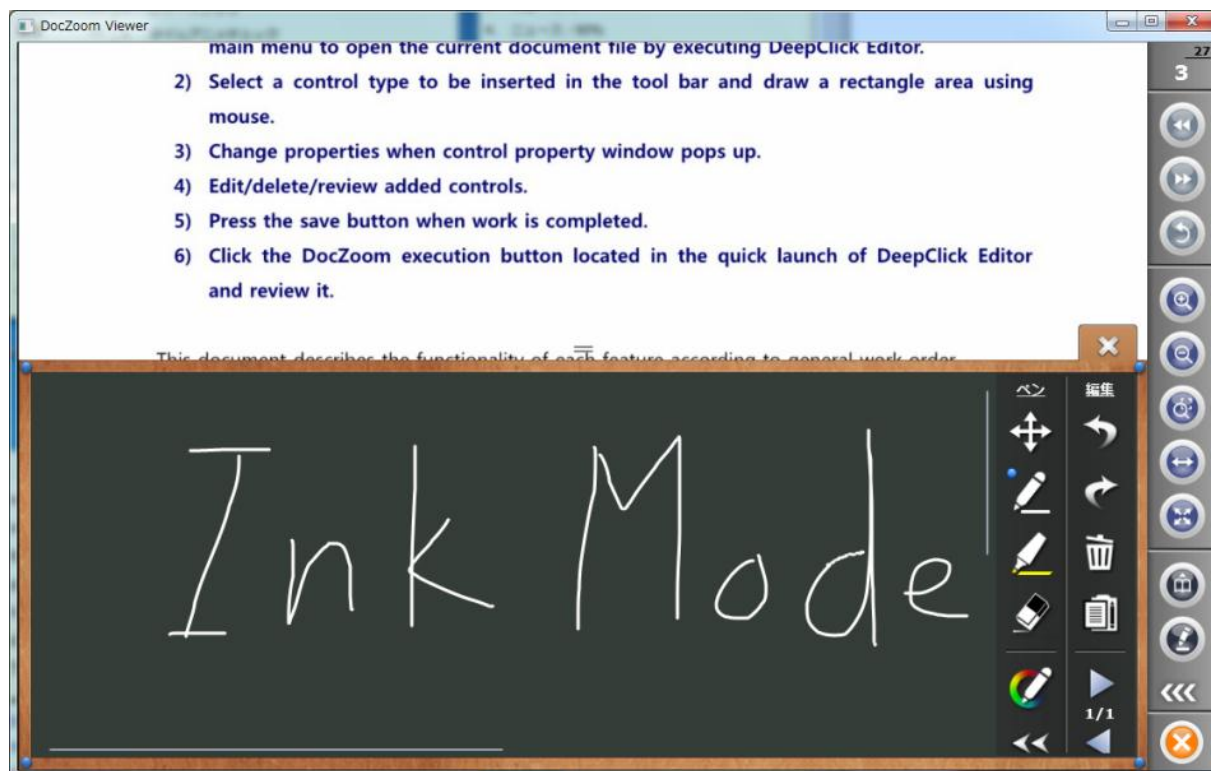
このモードでは広い画面で板書できるのが特徴で、右上の  ボタンをクリックして DocZoom に戻

り、 ボタンをクリックして DocZoom とサイド黒板を並べて表示することができます。

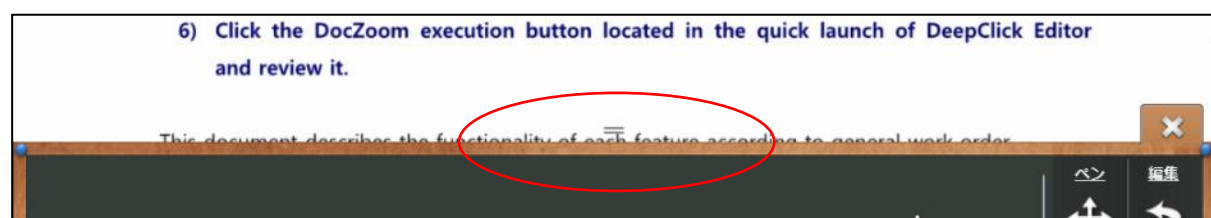
#### 4) 横黒板スクリーン表示



アイコンをクリックすると次のように DocZoom 領域の上に表示される横黒板スクリーンが表示されます。



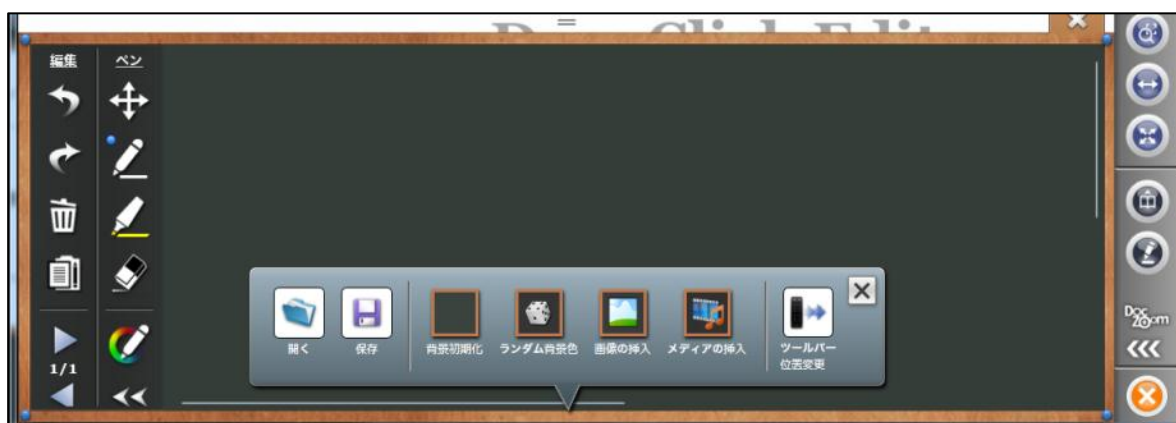
この黒板モードでは黒板がDocZoom領域の上に横方向で配置され、黒板領域のフレーム部分をドラッグすると黒板の大きさを調節できます。このモードを使うとDocZoomの特定領域を隠してある部分だけを見せながら板書できるのが特徴です。例えば問題の内容と解答が1ページで表示されている場合、問題の解答部分を黒板で隠し、その黒板の上で板書ができます。



ツールバーの拡張ボタンをクリックすると次のようにサブツールバーが表示されます。



【ツールバー位置変更】 ボタンをクリックするとメインツールバーの位置を左右に移動できます。



### 5.3. リモコンで DocZoom Viewer 操作

DocZoom Viewer ではリモコンで DocZoom Viewer の機能を操作できるよう、次のように割り当てキーが定義されています。このキーをリモコンに設定するとリモコンで DocZoom Viewer の機能を便利に操作できます。

DocZoom 操作	
矢印キー	該当方向に DocZoom をスクロール
PgUp	前のページ
Shift + PgUp	最初のページ
PgDn	前のページ
Shift + PgDn	最後のページ
Space/Enter	次のページ
Backspace	最後に見たページに移動
キーパッド+/End	拡大
キーパッド-/Home	縮小
f	ページフィット
Shift + f	幅フィット
z	領域拡大モードオン
1	1 ページ表示に切り替え
Shift + 1	1 ページ連続表示に切り替え
2	2 ページ表示に切り替え
Shift + 2	2 ページ連続表示に切り替え
3	横方向連続表示に切り替え
4	全体表示に切り替え
DocZoom 板書機能操作	
i	DocZoom 板書ツールバーオン/オフ
o	全体表示でサイド黒板を開く/閉じる (サイド黒板が開いている状態で押下すると全ての黒板が閉じる)
Shift + o	横黒板スクリーンを開く/閉じる
Shift + Ctrl + o	半分サイズで黒板を開く
m	DocZoom 板書ツールバーのペンモード変更 (押すたびに移動 → ボールペン → 蛍光ペン → 消しゴムに切り替わる)

Shift + m	DocZoom 板書ツールバーのペン種類 (押すたびにボールペン ⇄ 蛍光ペンに切り替わる)	
q	移動モードに切り替える	
e	消しゴムモードに切り替える	
c	現在のページから板書を消す	
Shift + c	全てのページから板書を消す	
DeepClick メディア制御		
p	現在のメディアプレイヤー再生/一時停止 (開いているポップアップメディアが優先されん、ポップアップウィンドウが開いていない場合は状況に応じてメディアプレイヤーが制御される)	
,	10秒進む	
.	10秒戻る	
多機能キー*		
a	DocZoom 表示モード DocZoom 板書モード メディア再生モード	前のページ ペン種類の切り替える 10秒戻る
w	DocZoom 表示モード DocZoom 板書モード メディア再生モード	ページフィット 移動モードに切り替える ページフィット
d	DocZoom 表示モード DocZoom 板書モード メディア再生モード	次のページ ペンの色変更 10秒進む
x	DocZoom 表示モード DocZoom 板書モード メディア再生モード	領域拡大モード 消しゴムモードに切り替える 現在のメディアプレイヤーを一時停止

✚ 多機能キーのメディア再生モードはメディアが再生中の場合のみ動作します。

✚ 多機能キーは次のようにリモコンの方向キーに指定すると便利です。



## 6. DocZoom 配布


DocZoom ダッシュボードの DocZoom アイテムのメニューからパッケージ作成ボタンをクリックすると現在の DocZoom を自動インストールファイルに作成して他人に簡単に配布できます。

[パッケージ作成] ボタンをクリックすると次のようなウィンドウが表示されます。

パッケージタイプを **DocZoom コンテンツ** に指定すると DocZoom Viewer を除いた DocZoom コンテンツファイルのみが含まれたインストールファイルが生成されます。相手が DocZoom Creator か DocZoom ギャラリーを持っている場合にこのタイプを選択します。

パッケージタイプを **単独アプリケーション** に指定すると、インストール後すぐに動作できるように必要な全ての要素が含まれるインストールファイルが生成されます。生成されたインストールファイルでインストールするとデスクトップとスタートメニューにショートカットアイコンが生成されます。

パッケージタイプを **Doczoom + DocZoom ギャラリー** に指定すると、DocZoom コンテンツと DocZoom ギャラリーが含まれるインストールファイルが生成されます。相手に継続的に DocZoom を配布する場合に便利です。

 **DocZoom ギャラリーは DocZoom ダッシュボードから DocZoom 閲覧機能だけを提供する無償の DocZoom 管理ソフトです。**

[**現在 DocZoom を他人が編集できるように許可**] をチェックすると生成されるインストールファイルに DeepClick 情報を編集できるファイルが含まれます。もし、相手が DocZoom を編集できないようにする場合はこのオプションを選択しないでください。



## 7. 問題解決

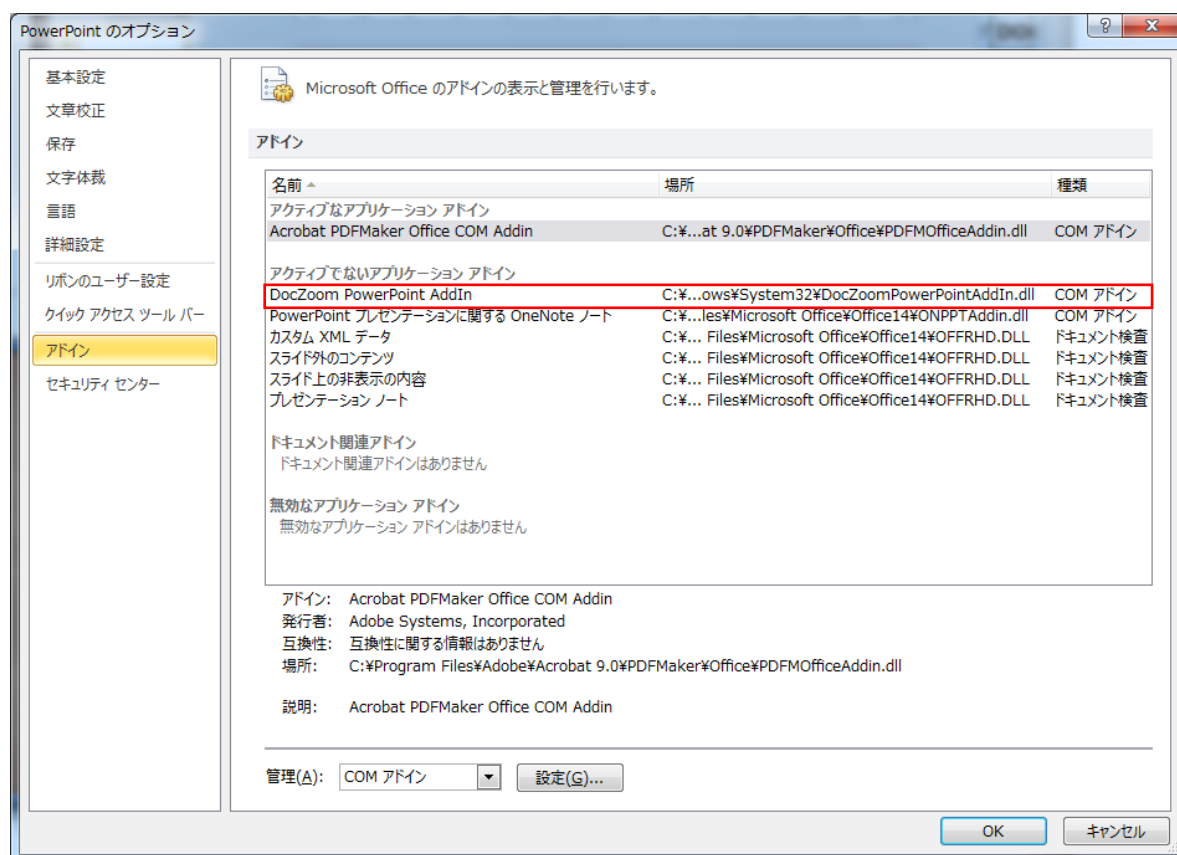
プログラムを使用する途中に問題が発生した場合は次の事項を参考してください。

### 1) 生成された DocZoom が原本と異なる、または生成されない場合

DocZoom 生成オプションで PDF レンダリングエンジンを【代替】に変更して再度試します。

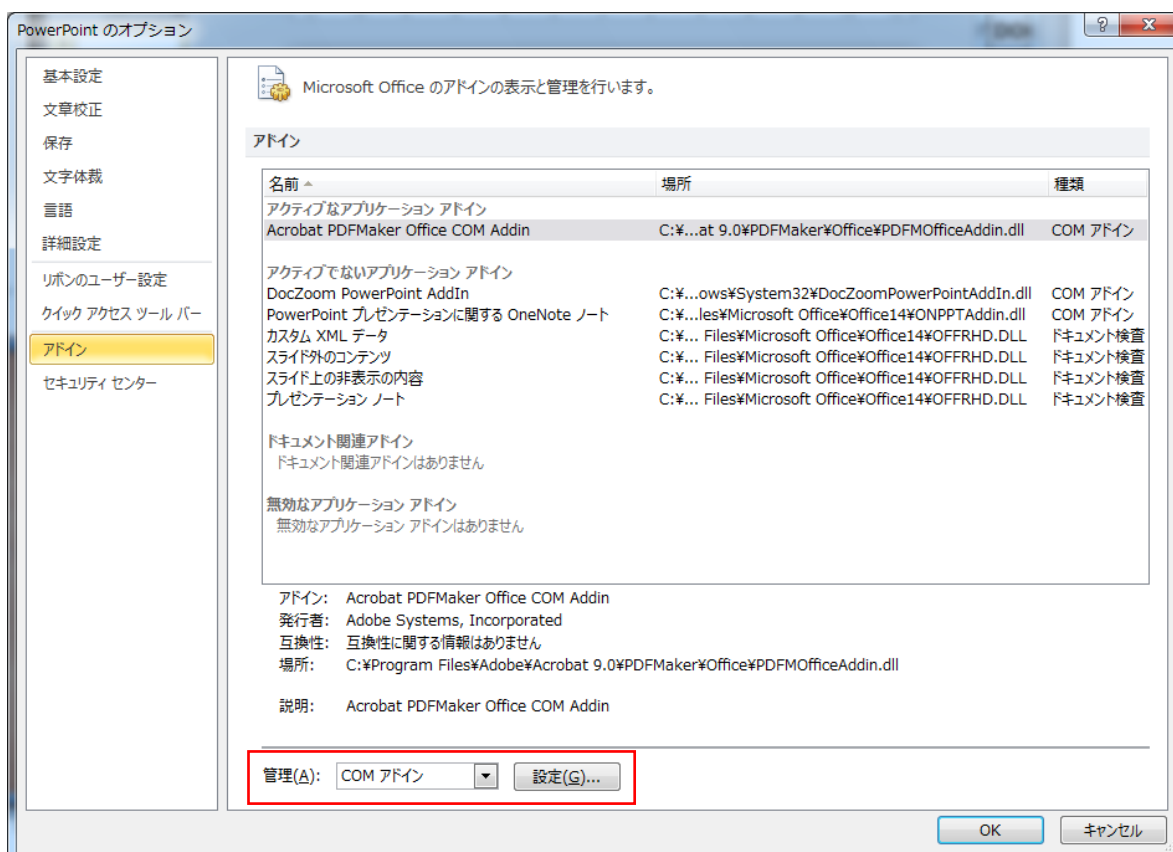
### 2) Microsoft PowerPoint アドインが表示されない場合

PowerPoint オプションのアドインタブで【アクティブでないアプリケーション アドイン】項目の【DocZoom PowerPoint AddIn】があるが確認します。

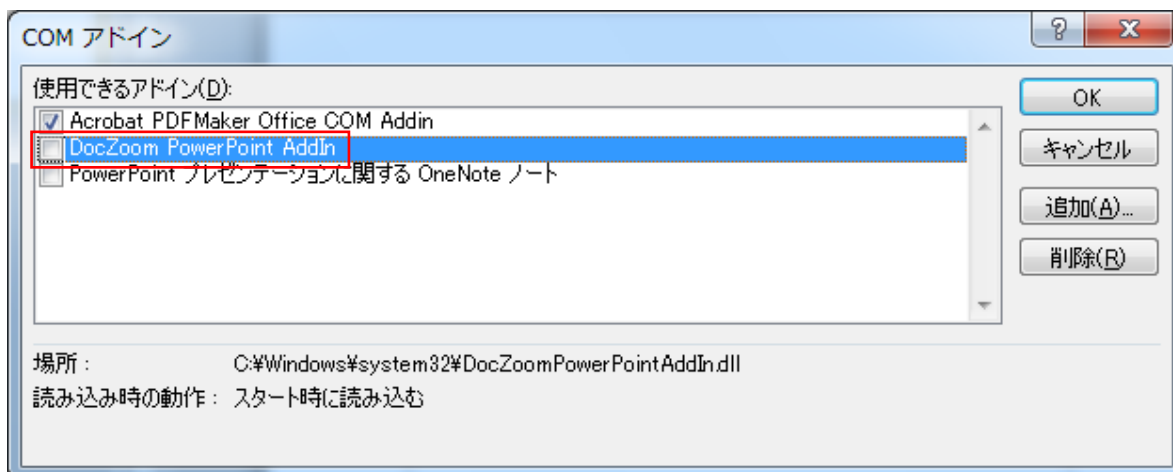




下端の管理コンボボックスから [COM アドイン] を選択して [設定] ボタンをクリックします。



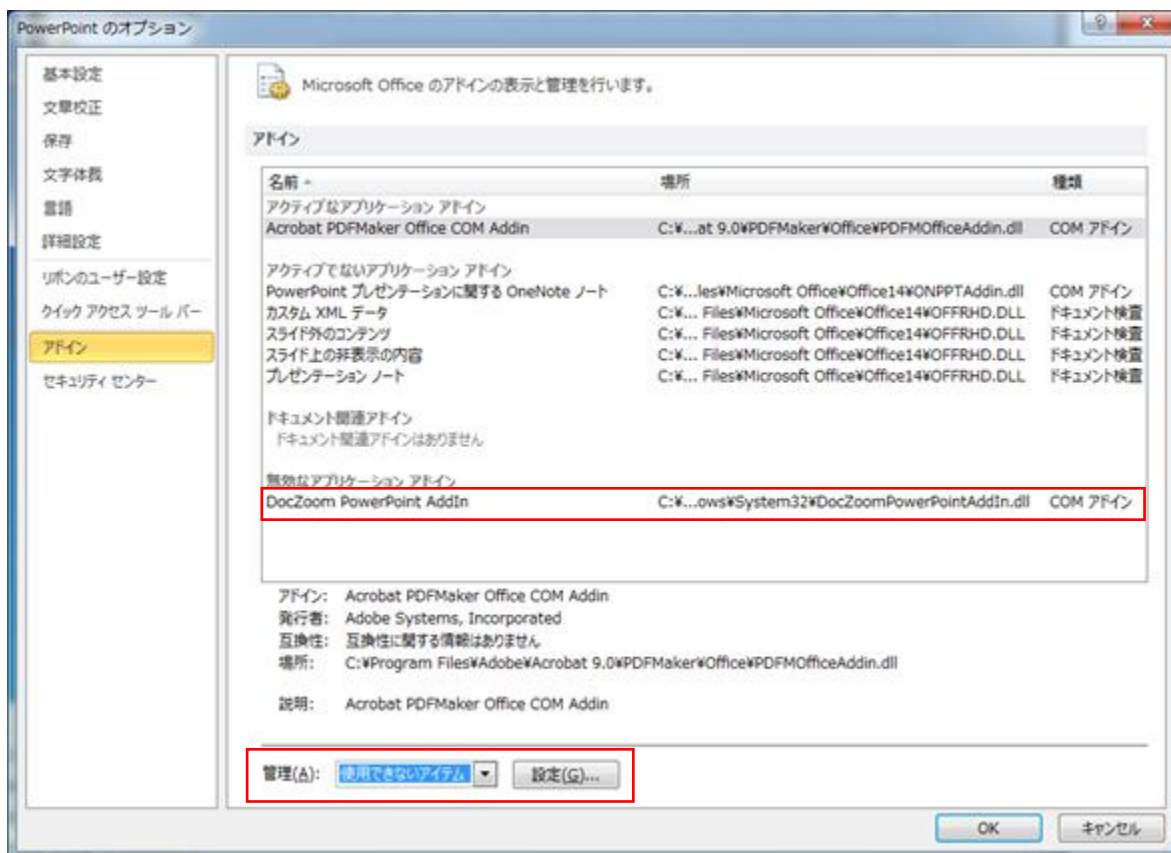
[DocZoom PowerPoint AddIn] をチェックして [OK] ボタンをクリックします。



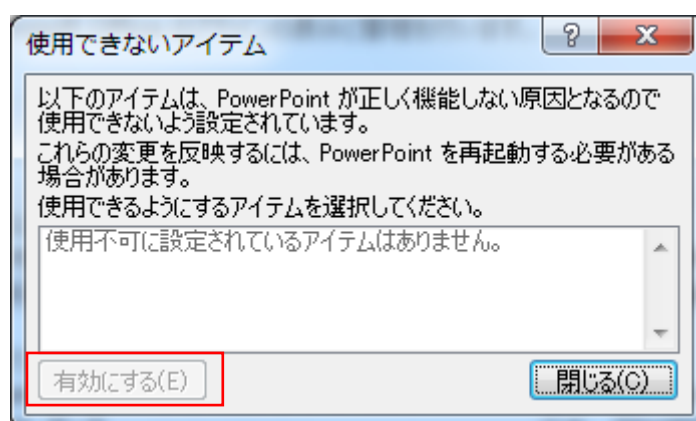
[アドイン]メニューがアクティブされていない場合は PowerPoint を終了して再度実行するとアドインがアクティブされます。

[DocZoom PowerPoint AddIn] 項目が [無効なアプリケーション アドイン] に表示される場合は次のように [アクティブでないアプリケーションアドイン] に追加した後 [COM アドイン] を設定します。

【使用できないアイテム】を選択した後【移動】 ボタンをクリックします。



【DocZoom PowerPoint AddIn】項目を選択した後【有効にする】ボタンをクリックして PowerPoint を再起動すると【アクティブでないアプリケーション】に追加され、前に説明されている【COM アドイン】設定方法と同じ方法でアドインをアクティブします。



## 8. ソフトウェアエンドユーザーライセンス契約

本エンドユーザーライセンス契約書（以下 “使用許諾契約書”）を必ず読んでください。本使用許諾契約書が同梱されたソフトウェア（以下 “ソフトウェア”）を開封、インストールおよび使用すると同時に本使用許諾契約書に同意したことになります。使用許諾契約書の内容に同意しない場合はソフトウェアをインストールしたり、使用しないでください。

### 1. 一般

本使用許諾契約書はソフトウェアについて貴方とソフトウェア提供元（以下 “会社”）との間で締結される契約です。ソフトウェアには貴方が会社から製品購入時に提供されるコンピューターソフトウェア（オンラインおよび電子文書を含む）および関連媒体と配布資料が全て含まれ、他にも会社が定期的、非定期的に貴方に提供するオンライン文書や電子文書、ファイル、アップデートと追加構成要素およびインターネット基盤のサービス構成要素に適用されます。会社はソフトウェアの使用を通じて貴方に提供される、貴方が使用できるインターネット基盤サービスの提供を中断できる権利があります。

### 2. 使用权の付与

会社は貴方に本使用許諾契約書の全ての内容に従う条件で次のような権利を付与します。

- 1) ソフトウェアは個人用製品で必ず貴方のコンピューター 1 台に限ってインストールでき、公共のコンピューターにはインストールできません。電子黒板のような大型タッチスクリーンに繋がる公共コンピューターで使用する場合は別当の電子黒板用使用权を購入する必要があります。
- 2) ソフトウェアがインストールされるコンピューターが個人所有ではない会社の資産である場合は、ソフトウェア使用权は個人の代わりにインストールするコンピューターに帰属される場合があります。この場合、インストールするコンピューターは特定使用者が独占的に使用するコンピューターである必要があります。
- 3) 一度購入したソフトウェア使用权を他人に任意で譲渡したり再販売できません。
- 4) ソフトウェアの使用权は他のコンピューターと共有したり同時に使用できません。またソフトウェア製品は製品単独のみの使用が許可され、1 台を超える数のコンピューターで使用する目的でソフトウェア製品の構成要素を分離できません。
- 5) 本ソフトウェアで生成された結果物は個人的な用途でしか使用できず、商業的な用途で配布したり販売できません。
- 6) 会社ではソフトウェアの無断使用を防止するためにインストール時に義務的にライセンス認証を行うようにしています。インストール過程で説明される方法でソフトウェアのライセンス認証を行わない場合はソフトウェアを使用できない、または一部の機能が制限されたり、一定期間が過

ぎたら使用できなくなる可能性があります。会社はライセンス認証の過程で貴方と貴方のコンピューターについての情報を収集する場合があります。会社はこの情報をソフトウェアの知的財産権保護およびアップグレードなどの維持保守のための範囲内でのみ使用し、貴方の同意なしで第三者に提供しません。

### 3. 知的財産権

- 1) ソフトウェア(ソフトウェア製品に含まれる全ての画像、写真、アニメーション、ビデオ、オーディオ、音楽、テキストおよびサブプログラムを含む)についての知的財産権を始めとする全ての権利は本使用許諾契約書で明示的に貴方に譲渡、使用を許可したものを除き全て会社またはその共有者が保有します。
- 2) 貴方はソフトウェアをリバースエンジニアリング、デコンパイルまたは逆アセンブルできません。また本契約で明示的に許容している場合を除いてはソフトウェア製品の全部または一部を使用、コピー、翻訳、配布、伝送、出版、販売、変更、修正、拡張、その他2次製作物の作成、貸出、譲渡、質権設定の他、担保設定できません。貴方は会社が制作権の保護のためにソフトウェアに設置された技術的な保護装置を破ったり、変形させては行けません。
- 3) ソフトウェアで生成した結果物と関連するすべての法的責任はソフトウェアを購入した個人にあります。

### 4. アップグレード、アップデート等

会社がソフトウェア製品にアップデート、アップグレードなどを行う場合、アップグレードが完了するとアップグレードの基盤となるソフトウェアの全部または一部を使用できなくなる場合があります。アップグレードされたソフトウェアは本使用権契約の条項に従ってのみ使用できます。

### 5. 保証の内容および限界

- 1) 会社は貴方がソフトウェアを購入した日から180日(以下 “保証期間”)の間ソフトウェア製品に同梱された製品説明書通り動作することを保証します。しかし、会社はソフトウェア製品が貴方が目的とする特定の事業、商品として適切かと言う部分については黙示的でも明示的で保証しません。
- 2) 会社は会社の誤りによって保証期間内にソフトウェア製品に問題が発生した場合ソフトウェアをアップグレードまたは交換します。ただし、会社の責任ではない場合や、天災地変、事故など不可抗力的な原因で発生した問題について会社は保証責任を負いません。
- 3) 会社はソフトウェアの使用または使用不能によって貴方に発生する損害については責任を負いません。ただし、会社の明白な過失によって貴方に損害が発生した場合、それについて会社は貴方から支給された金額の範囲内で賠償責任を負います。

本使用許諾契約書は大韓民国法律によって規律されます。